

# 豊橋開拓土地改良区

## ○地域の特徴

当地域は、豊橋市の南部に位置し、その大部分は旧軍用地に属した高師原、天伯原の旧陸軍演習場及び大清水飛行場跡地で、戦後、国営開墾建設事業により、農用地に造成された開墾地です。

現在は、この開墾地に隣接する増反地を併せた区域が、当土地改良区の管轄地域となっています。

## ○組織概要

受益面積	939ha
受益地	豊橋市南部地域（27町）
組合員数	2,118名
総代数	45名
役員数	13名
設立	昭和42年（1967年）
職員数	3名

## ○取り組み

令和9年2月を目標に豊川用水系6土地改良区（高豊・二川・豊橋開拓・豊橋南部・豊橋北部・豊橋北西部）の合併を目指しています。

令和7年度から南山田揚水機場（万場調整池北側）において次世代農業（カーボンニュートラル事業）エネルギーの地産地消型揚水機場の研究開発に着手しました。

当改良区が管理する24揚水機場のすべてにICTシステム（遠隔監視制御）を導入して、管理労力の省力化を図り、集中監視を実施、揚水機場のファームポンド（貯水池）の上部に太陽光発電設備を設置して、維持管理コストの軽減を図るとともに、地球温暖化による環境負荷低減（二酸化酸素の削減）、災害時における非常用電源及び生活用水の確保するため、蓄電池、浄水装置を備え、防災拠点として地域貢献の活動に取り組んでいます。